

●浜の話題

- 1月17日、当センター職員23名が相模原市の北里大学海洋生命科学部を訪問しました。同学部の吉永先生と山田先生の案内で、最新の遺伝子分析機器が設置された実験室や様々な生物が飼育されている飼育実験室、シーラカンス等の貴重な標本が並び展示コーナーなどを見学し、また当センター職員から大学の研究内容について様々な質問をしました。当センターと同大学は2016年に連携協力協定書を締結しています。



実験室を見学する当センター職員



展示コーナーのシーラカンス

- 1月22日、横浜市漁協柴支所は昨年11月から試験養殖しているホタテガイの成長具合を調べ、栄養豊富な東京湾でホタテガイがすくすく育っているのを確認しました。同支所では2015年から青森県のホタテガイの種苗を導入した養殖試験に取り組んでいます。
- 1月23日、鎌倉漁協は貝桁漁具製作の職人を招き、チョウセンハマグリ用の漁具について打ち合わせを行いました。鎌倉地先では、特別採捕許可による貝桁網調査でチョウセンハマグリが採集されています。同漁協の漁業者は、3t未満の小型漁船でトルクを抑えて漁獲できる貝桁について助言を受けていました。



業者から貝桁について説明を受ける漁業者



- 1月25日、当センター相模湾試験場が江の島片瀬漁協および茅ヶ崎市漁協所属漁業者と協力して実施しているヒロメ養殖試験について、担当普及指導員が成長具合の確認をしました。試験開始から1ヶ月経過したヒロメはほぼ順調に生育していましたが、一部のイカダでは食害を受け生育不良が見られたそうです。



生長したヒロメ

- 1月28日、大竹組合長（大竹丸）や座間指導漁業士（ヴェルデ丸）などの小坪漁協所属漁業者6名が当センターを訪れ、キャベツウニ（キャベツを餌にして肥育したムラサキウニ）を視察しました。当センター研究員から、キャベツウニの概要や実際の育て方等について説明を受けた後、（公財）県栽培漁業協会から今井専務理事からウニの飼育水槽等について助言を受けました。小坪地先ではムラサキウニによる海藻の食害が深刻化しており、参加した漁業者は今回の視察を踏まえ、今後ムラサキウニの捕獲とキャベツウニの生産に取り組もうと張り切っていました。



当センター研究員からキャベツウニについて説明を受ける漁業者

- 1月28日、神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会は鎌倉パークホテルで通常総会を行い、会員や関係機関職員等36名が出席しました。総会では前年度事業・収支決算報告のほか、新年度事業計画案等の議題、規約改正、新役員選出が議決されました。総会終了後に懇親会が開催され、参加者は様々な意見交換を行っていました。

●お知らせ

※ 諸事情により中止となりました。2月22日（土）、横浜市柴支所において毎年恒例の「小柴育ちホタテ浜焼き会」が開催されます。このイベントには毎年多くの人々が来場し、ホタテ浜焼き、ホタテガイ釣り体験（小学生以下対象）等を楽しんでいます。東京湾育ちの新鮮なホタテガイはここでしか味わえません。獲れたての地魚の直売もありますので、ぜひご来場ください。

・お問合せ先：横浜市漁業協同組合金沢支所

電話：045-701-8182

URL：https://www.welcome.city.yokohama.jp/eventinfo/ev_detail.php?bid=yw5642



ホタテ釣り体験を楽しむ来場者（昨年の様子）

※ 諸事情により中止となりました。2月24日（月・振替休日）、横浜市漁協金沢支所において毎年恒例の「金沢漁港 海産物フェスタ」が開催されます。金沢漁港周辺はノリの名産地で、今は新ノリの季節です。この貴重な新ノリを養殖網から直接むしり取る「生ノリむしり」はここでしか体験できません。その他にも「生ワカメつかみどり」、「八景島周辺遊覧船」、「生ノリ味噌汁配布」や水産物の販売等、金沢漁港ならではのイベントが楽しめますので、ぜひご来場ください。

• お問い合わせ先：横浜市漁業協同組合金沢支所

電話：045-781-8929

URL：<http://www.kanazawa-gyokou.com/festa.html>